

特集！！ハルちゃんが行く！！

～津野町産業祭～

今年も、恒例の津野町産業祭が平成 29 年 11 月 12 日に、津野町西運動公園にて開催されました。農業や林業に関係する出展や、地元の企業や婦人部による飲食店などがあり、毎年大変にぎわいます。今年も、須崎林業事務所は高知県立林業学校の卒業生と共同で出展し、木材利用促進の一環として薪の配布を行いました。この日のために、林業学校の卒業生が数週間前から山での仕事の傍らで、コツコツと薪を準備してきました。



ハルちゃん

紅葉 地元の木材利用に貢献



持ち寄った薪を麻ロープで束ねます。うまく縛ることができず困っていると、通りすがりのお父さんが縛り方を教えてくれました。しかも束ねる作業と一緒に手伝っていただきました！



お父さんのおかげで無事に準備完了！声掛けしながら薪を配布します。



早速、「もらっていったかまん？」と、持って帰っていただけました。



こちらの女性3人組も薪を持って帰りました。薪は重いので、林業学校卒業生が車まで運ぶと、とても喜んでいただけました。



残りあと少しです！



産業祭が閉会するころに、約 60 束の薪をすべて配布し終わりました。お疲れ様でした！

紅葉 高知県立林業大学の学生募集



ブースでは県立林業大学の来春の学生募集の案内もしました。林業に関わる地元の方にも関心を持っていただき、卒業生と話を弾ませていました。

紅葉 丸太切り競争

1チーム3名で、交代しながら直径約 20cm の丸太をノコギリで切り、早さを競いました。林業学校卒業生チームは、チェーンソーは得意でも、どうやらノコギリの扱いは苦手の様子…。一回戦敗退となってしまいました。

結果が悔しかったようで、次回に向けて練習すると意気込んでいました。



奥四万十で頑張る！！

～津野町産業祭、農林産物物品評会の巻～

津野町では、産業振興の一環で毎年、産業祭と農林産物物品評会を開催しています。

県須崎林業事務所も出展を行い(前述の「特集！！ハルちゃんが行く！！」のとおり)、主に「高知県立林業大学校」のPRや「高知県小規模林業推進協議会」のPRを実施し、自伐林業を実践されている方へ、入会の申し込みの受付を行いました。林業事務所による普及の活動は、屋外の特設テントブース及び東津野B&G海洋センターの屋内の2か所で実施しました。



○小規模林業の推進！

津野町には、自営業者や一人親方など小規模に林業を取り組んでおられる方が多数おり、大規模に木材の増産に取り組む森林組合など林業事業者とあわせて、木材増産の両輪のうち片輪の役目を担っております。平成27年度に設立した「高知県小規模林業推進協議会」は、小規模に林業を行っている方のネットワークづくりや支援策の紹介の場となっており、現在も入会の促進を行っております。

晴天に恵まれた「津野町産業祭」の場で、須崎林業事務所が特設ブースでPRした結果、6名の方が新たに協議会に入会していただきました。本当にありがとうございました。

作業道を開設しながら年間約 500m³ の搬出間伐を実施している小規模林業を一人で実施している方にお話を伺いますと、「最近、木材の価格が低迷しており、木材の利用をもっと進めてほしい」とお話を伺いました。林業事務所からは、「木材の需要や販路開拓をこれからもっともっとすすめていきますよ」と返答し、「今後も林内安全に十分気をつけて林業の作業を実施してください」とお伝えしました。



○農林産物物品評会に今年度から高知県須崎林業事務所長賞！

津野町産業祭では、前日に農林産物物品評会の審査が行われ、これまで産地となっているミョウガやアマトウなどの農産物が主流であったため、林業事務所との関わりが薄かったのですが、特用林産物であるシイタケやシキミ、サカキも出展されているため、林業事務所から要望して、今年度から「高知県須崎林業事務所長賞」を加えていただきました。審査の結果、今年は生シイタケの生産者に「高知県須崎林業事務所長賞」を授与されました。農林家の貴重な収入源として、今後も、ますます特用林産物の生産をよろしくお願ひしたいと思います。(by 振興課長)

産業祭の当日に表彰式が行われて

